

映画「ここに泉あり」(1955)の時代－映像作品と地方政治

講座概要

群馬交響楽団創設の苦闘を題材にした映画『ここに泉あり』（1955年）をふりかえり、地域文化興隆の様相を「映像作品と地方政治の交錯史」という視座から考察したい。※本講座は2019年11月に実施した公開講座「映画『ここに泉あり』(1955)の時代（「映像作品と地域活性化」を考える）」の続編（パート2）となります。

実施責任者：情報学部 准教授 北村 純

日程		講義内容	講師
10月28日 (土)	13:00 ～ 14:30	【映画「ここに泉あり」(1955)の時代－映像作品と地方政治】 講義では1955年公開の映画『ここに泉あり』を題材にして、映像作品と地方政治がどのように交差しつつ地域文化の興隆に係わってきたかについて振り返り、その現代的意義について考察する。 (※今回の講座は単発の講義となります。)	情報学部 准教授・北村 純